自費

RSウイルス予防の注射（エヌフロンシア®）

注射（抗体のお薬・ワクチンではありません）

RSウイルスは、ほとんどの子どもが2歳までにかかるウイルスです。赤ちゃんがかかると、細気管支炎や肺炎になり、入院が必要になることがあります。エヌフロンシアは、RSウイルスと戦う**抗体**を直接注射するお薬で、**注射したその日から**効果が期待できます。

対象年齢・回数・間隔

対象	**生後はじめてRSウイルスの流行期を迎える赤ちゃん**（1歳未満） 早産や持病のない、健康な赤ちゃんも受けられます。
回数	**1回**（太ももに筋肉注射）。体重にかかわらず同じ量です。ほかの予防接種と同じ日に受けられます。
時期	流行期の前に生まれた場合：流行が始まる前に 流行期の途中に生まれた場合：生後できるだけ早く 1回で約5か月（1シーズン）の予防効果が確認されています。
効果	臨床試験では、受診が必要な細気管支炎・肺炎などが**約6割**、入院が**約8割**減りました（重症化を防ぐお薬です）。
費用	健康保険が使えない**自費診療**です。**ご予約・費用はお電話**でお問い合わせください（お子さまごとにお薬を取り寄せます）。

副反応と接種後の注意

- 接種した場所の痛み・赤み・腫れ、発疹などがみられることがあります。多くは数日で落ち着きます。
- まれに、強いアレルギー反応（アナフィラキシー）が起こる可能性があります。
- 接種後**30分**ほどは、何かあったときに**すぐクリニックに戻れる場所**で様子を見てください。
- 当日の**入浴はできます**。接種した場所はこすらないでください。
- 当日は激しい運動は控えてください。

妊娠中にお母さんがRSウイルスワクチン（アブリスボ）を受けた場合：接種から14日以上たって生まれた赤ちゃんは、通常この注射は必要ありません。14日未満の場合はご相談ください。

早産や心臓・肺の病気などで、**健康保険で受けられるお薬**（シナジス・ベイフォータス）の対象になる赤ちゃんは、医師にご相談ください。

すぐ受診・連絡してほしいとき：高い熱が続く、けいれん、ぐったりしている、顔色が悪い、じんましん・息苦しさ、接種した部位が大きく腫れて痛がる など

持ち物・当日の注意

- **母子健康手帳**
- **予診票**（当院でお渡しします）
- 朝、おうちで**体温を測って**きてください。37.5℃以上の場合は接種できません。
- 体調が悪いとき、最近かぜや感染症にかかったときは、ご来院前にお電話でご相談ください。

がんばったね！

注射をがんばったお子さまを、たくさんほめてあげてください。
「よくがんばったね」のひと言が、次の接種の勇気になります。

© 2026 くつまこどもクリニック　TEL 045-901-0011　2026年11月改訂　無断転載・複製を禁じます